

投与プロトコール 1クール 21日間 アービタックス:制限なし、カルボプラチン+5-FU:6コース 《開始時基準 PS:0~1 年齢:18-75歳以下》		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートKeep	生食 500mL	—	Day1,2,3,4,8,15	—	
プレメディ	ホラミン5mg+5-HT3受容体拮抗薬+プロイメント+デキサメタゾン 生食100mL		Day1	30分	
	デキサメタゾン+生食50mL		day2,3,4	15分	
	ホラミン5mg+デキサメタゾン+生食100mL		day8,15	30分	
①	アービタックス: 初回: 400mg/m <sup>2</sup> 生食(500-アービタックス注入量)mL	初回 mg	Day1,8,15	初回 2時間	
	2回目以降: 250mg/m <sup>2</sup> 生食(250-アービタックス注入量)mL	2回目以降 mg		2回目以降 1時間	
経過観察 (1時間)	アービタックス投与終了後、ルートキープ用生食でフラッシュ:アービタックスの投与速度と同じ速度(4mL/分)以下で。以降、infusion reactionの発現に注意し、1時間経過観察。				
②	カルボプラチン:AUC(5) 5%ブドウ糖 250mL	mg	Day1	1時間	
③	5-FU: *1000mg/m <sup>2</sup> 5%ブドウ糖 500mL	mg	Day1,2,3,4	24時間	
<p>* 5-FUはfull doseでの投与が困難である場合が多いため、レジメンカレンダーでは、5-FU 800mg/m<sup>2</sup>(最大1600mg/body)で投与量を算出する。</p> <p>◆6コース終了後も治療を継続する場合は、アービタックスのみの投与を行う。</p> <p>◆カルボプラチン投与量 = AUC(5) × (Ccr+25) CCr算出にはCockcroft-Gaultの式を用いること ただし、CCr上限値:125mL/min、SCr下限値:0.7mg/dLとして投与量を算出する</p>					

佐賀大学医学部附属病院